

こんにちは 議会です

紀の川市議会だより

平成21年[2009]2月1日発行

No.8



○定例会報告	P 2
○市政を問う (一般質問)	P 4
○各委員会報告	P12
○〔特集〕		
紀の川市の歴史を散歩	P14
Part2		

本定例会において、「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」における紀の川市固定資産税の特別措置に関する条例」を賛成多数で可決。

この条例は、平成20年2月1日から5年の間に企業が紀の川市に進出する際に、3年度分に限り取得された土地・家屋・一部の償却資産の固定資産税を免除することにより、企業誘致の促進をはかる目的です。

現在、市では県外から40社の企業を誘致し、年間約5億円の税収があり、約550人の市民が働いています。

市としても、減少し続ける人口に歯止めをかけるためにも働く場所を確保し、定住していただくことが大事だと考え、今後京奈和自動車道が開通した時点で、多くの企業が進出しやすいよう企業

新たな雇用の確保を

用地の整備を行い、進出希望企業に紀の川市の良さをPRし、積極的に企業誘致に努めるとのことです。

具体的には土地開発公社が主体となり、北勢田に12haの第二工業団地を

造成し、進出企業5社・300人の雇用・年間税収6千万円を目標に取り組みとのことでした。



計画の北勢田第2工業団地

平成20年 第4回定例会

平成20年第4回定例会は、11月28日から12月19日までの22日間の会期で開かれました。

本定例会は、平成20年度各会計補正予算、議員提出議案など25議案を審議した結果すべて原案どおり承認・可決しました。

一般質問には、13名の議員が登壇し、行政問題をたどしました。



安楽川小学校完成予想図

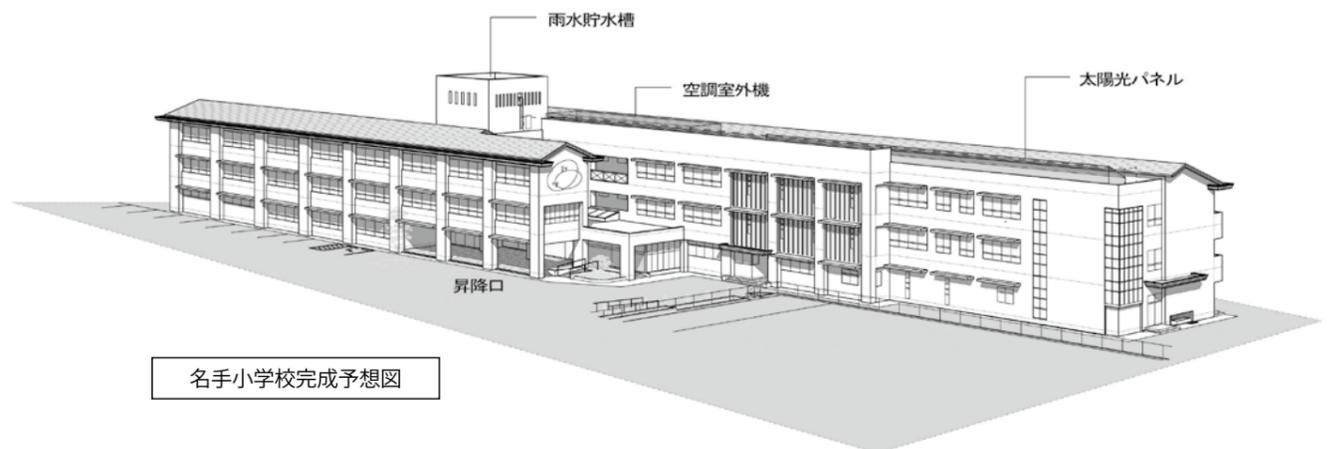
東南海・南海地震 対策に向けて

安楽川・名手小学校舎 改築工事始まる

紀の川市では、小・中学校の耐震診断結果を受け、大切な子どもたちが安全で安心して一日の大半を過ごせるよう校舎の耐震化を急ピッチで進めています。

昨年10月の臨時議会において、安楽川小学校（本体工事費約12億2千万円）の校舎改築が決まり、さらに本定例会でも、名手小学校（本体工事費約12億5千900万円）の校舎改築が行われることとなりました。

また、本定例会の補正予算において、丸栖小学校校舎（約7千200万円）、那賀中学校校舎（2億800万円）の耐震補強工事を実施することになりました。



名手小学校完成予想図

妊婦健診費用の助成拡大

2回までの助成であった妊婦一般健康診査（妊婦健診）が、平成20年4月1日までにさかのぼり、5回まで助成回数を増やすことになったが、その助成対象や周知方法は。

A 助成対象となるのは、平成20年4月1日以降に妊娠届を提出された方である。

制度改正の周知については、1月号の「広報紀の川」、市のホームページに掲載する。また、乳児訪問や4ヶ月児健診時にも説明を行なう。





阪中 晃 議員

①各学校が学校の実情に応じて判断しているが、教科の特性を活かし、小

答 教育長

良い習慣を身につける

問

学力向上について①市内中学校における、中間・期末テストの回数が2学期制のため、年4回は少ないのでは。②小学校の家庭学習としての宿題のあり方について。③生涯学習の町を宣言している当市において、小中学生を持つ家庭の家庭教育について。

④小中学校で、できる学校から学習の習慣をつけるための土曜学習や、特に中学校で学力向上のための習熟度別授業をとり入れては。⑤小中学校で、できる学校から学習の習慣をつけるための土曜学習や、特に中学校で学力向上のための習熟度別授業をとり入れては。

いっぱん質問

市政を問う

阪中 晃 議員

- 学力向上について
• 教育委員について

大森 道夫 議員

- 21世紀新農政2008に対する市の取り組みについて

森田 幾久 議員

- 人口「7万人」確保について

遠藤 守 議員

- 市施設及び行事一元化への見直し
• ゴミ処理問題の今日的課題
• 市内巡回バスの運用活性化

川原 一泰 議員

- 食育の恐怖と今後の対策
• 農家の経営安定と政策支援

岡田 勉 議員

- 教育問題について
• 市道の新設について

寺西 健次 議員

- 新年度予算編成と財政について
• 学校の耐震化について

石井 仁 議員

- 国民健康保険制度について
• 職員適正化計画について

井沼 武彦 議員

- 健全な食生活と明るい市民生活を築く方策は

上野 健 議員

- 観光による活性化対策

岩坪 初雄 議員

- 基本に忠実に！
市民憲章制定後の具体的取組みについて
• 遊休農地の解消について

亀岡 雅文 議員

- 京奈和自動車道について
• 紀の川市の駅と観光について

吉田 隆三郎 議員

- 森林整備と間伐材の活用について
• 貴志川の河川敷の活用について

問

「学び・鍛える」場へここ

教育委員を現在の5人から7人に増やし、広く人材を求め教育に対する意見をいただいてはどうか。

答

市長

5人以上の教育委員のところもあるようなので、研究していくが、私は今回は、男3人、女2人の5人体制でいいと考えている。



宿題にはげむ子供

「働く場所」の確保

問

合併時の人口は、7万487人であるが、平成20年3月時点では、6万9千210人となっている。長期総合計画（10年後）の目標人口7万人としているが、このままだと何人になるのか。

答 企画部長

平成29年では、人口6万6千172人と推計している。

問

目標人口7万人を達成するには、「働く場所」がキーワードとなると思うが、企業誘致を北勢田地区に計画されている中進出企業数および雇用人数はどの程度見込んでいるのか。

答 企画部長

利用者がアンケートでも要望が多く、最終便を23時台への延長も含め運行バス会社と協議していく。

問

地元だけで働く場所を確保するのは、困難である中、通勤・通学を大阪に求めているため、熊取バスの本数および深夜運行の拡大も必要であると思うがどうか。

答 企画部長



計画の北勢田第2工業団地

工事は地元業者で

問

地元業者の安定、雇用拡大のためにも、会社実績が無くとも社員に実績が有れば有りとみなし、下水道工事も地元業者で行ってはどうか。

答 総務部長

コリンズ登録でも把握できるため、指名願時に工事カルテを添付していただく上で検討していく。



森田 幾久 議員

※コリンズとは広く建設情報を手がけている勤日本建設情報総合センター(JACIIC・ジャシック)が公益法人という立場で、工事実績情報のデータベースを構築し、各工事発注機関へ情報提供を行うことになり、このデータベースが「CORINS(コリンズ)工事実績情報システム」です。

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。
なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。
くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので市議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 77-0892)



井沼 武彦 議員

文部科学省はじめ教育関係機関の全国調査において朝食を取らない取れない児童についてはテストにも差があるという傾向がみられる。その原因は、体力がつかない、集中力がない、気分の安定がない、学習の意欲関心の低下とともに知識理解の習得にも支

答 教育部長

朝食をとろう

問

今世の中で一番大切な事は、平和と食の安全である。食の安全確保は食生活の基本であり、小中学生時代は、身体も心も形成される時期であり朝食のとらない子供は、「つかれる」・「いらぬ」・「テストにも差がある」。教育委員会としてどのように考えているのか。

障をきたしている。そこで教育委員会としては、各学校を通して「早寝、早起き、朝ごはん」の指導を、児童生徒だけでなく保護者にも指導している。

青洲の里へどうぞ

問

青洲の里の昼食バイキング料理は、安全安心を基本として、地元の食材を多く取り入れ、常におもてなしの心でお客様と向かいあい、注目されているが、レストランで食事する時間が限られているので、南側テラスを利用してもらうための暑さ寒さ対策等、紀の川市として今後どう対応していくのか。

答 農林商工部長

昨年3月に開始した、地元農産物を中心としたバイキングが人気を呼んでいる。今後内容の充実を図るべく、総務省の補助事業で元リクルー社の中島氏にア



青洲の里健康バイキング



岩坪 初雄 議員

合併後3年が経過した。特色あるまちづくりも、考えて行くべきだと思うが。

答 教育部長 総務部長

学習指導要領に基づき、学校教育活動全般において市民憲章の趣旨を踏まえて指導している。小学生では「気持ちよいあいさつ」など、中学生では「社会の一員として自覚を持って郷土を愛し、発展に努める」心を育てる。また、各校において「笑顔であいさつ運動」を展開している。市職員については、市

あいさつ運動の励行を

問

市民憲章に「笑顔とあいさつで和を広める」とあり、広く市民に親しまれ実践されるため周知・普及に努めなければならぬと思う。特に小・中学校の児童生徒と市職員に対し、具体的にどのような取り組みがされているのか。

答 教育部長 総務部長

本市の現状からして今後遊休農地は、加速度的に増加することが予想される。解消の方策として、どのようなことを推進するのか。また、近い将来市が受託事業を展開していくか。また、近い将来市が受託事業を展開していくか。また、近い将来市が受託事業を展開していくか。

答 農林商工部長

担い手育成総合支援協会の立ち上げをはじめ、担い手農家に支援する事

どうする耕作放棄地は

問

業として「遊休農地解消促進事業」の実施や、農地の貸し借りの推進等々、地道な取り組みを行う。そして、農業振興を図る上で最も重要な事業としての「ほ場整備」を強力に進めたい。また、市が農地を受託することは困難であるが、農業経営を効率的に行える農業の法人化を推進していきたい。

また、市が農地を受託

業として「遊休農地解消促進事業」の実施や、農地の貸し借りの推進等々、地道な取り組みを行う。そして、農業振興を図る上で最も重要な事業としての「ほ場整備」を強力に進めたい。また、市が農地を受託



池田小学校でのあいさつ運動



川原 一泰 議員

食の恐怖と今後の対策

問

農水省の事故米の問題を農林商工部長はどうとらえているか。今中国産で食材の中の残留農薬の問題を重視し、紀の川市の給食の食材は地元産を充分使い安全安心な食を供給していかなければいけないが、市の取り組み

答 教育部長

紀の川市産食材の使用率は穀物69・9%野菜35・8%であるが今後自給率をもっと上げ中国産の食材を使用禁止とし、安全安心な給食供給をやっていく決意である。

答 農林商工部長

農水省が事故米を販売し、事故米を食用に使用

た三笠フード・島田化学工業のこの問題は、二度とこのような事が起こらないように国も対策をこうじている。島田化学工業の澱粉が紀の川市の給食に入り込んだこの問題を厳しくとらえて地元産の食材を、充分取り入れた地産地消を強力に進めて安全安心な食を提供していく。



地元食材の販売風景

農家の安定と政策支援

問

農家の経営安定と後継者不足の解消は、農作物の最低価格の保障と流通改善を農業政策をもってやらなければいけないと思うが、市の考えは。

答 農林商工部長

ほ場整備等の農業基盤整備やトップセールスによる紀の川市産農産物のブランド化などの農業振興策を講じていく。価格保障や流通の問題は、WTO（世界貿易機関）上

答 市長

この問題は、農家対策や後継者対策を含め重要であり国に強く要望していく。



寺西 健次 議員

安全・安心と旧5町共に繁栄を指針として来た。今後も環境良好で住んで良かった。と言われるまちづくりを目指したい。

答 市長

安全・安心と旧5町共に繁栄を指針として来た。今後も環境良好で住んで良かった。と言われるまちづくりを目指したい。

妊婦健診無料化に期待

問

前々回の議会で、妊婦健診の公費負担を2回より5回へ引き上げる提案をしたところ、今回の補正予算で早くも実施された。国においては妊婦健診無料化案が検討されており、その案が成立すれば速やかなる対応を望みたいがどうか。

答 市長

国においては妊婦健診無料化案が検討されており、その案が成立すれば速やかなる対応を望みたいがどうか。

粉河中移転は慎重に

問

粉河中学校は粉河駅南西地へ移転要望がある。歴史ある学校、慎重な対応を望みたい。反面、耐震化された安全な学校建設も大事であり、移転の場合、安全な通学路の確保・騒音対策等、移転して良かったと言われる学校作りを目指し、跡地は災害避難地として保存を考えるがどうか。

答 市長

今後は、地域の皆さんの意見を聞き十分相談をさせていただきながら、方針を決定していきたい。

問

東南海・南海地震の発生が予想され、早期に学校の耐震化が求められ



名手小学校の工事現場

答 教育部長

学校施設の耐震化率は47%で、震度7を想定し補強工事を実施しており平成27年度で完了する。



遠藤 守 議員

問 紀の川市はひとつ
市制三年を経過して一期目の最終年を迎え、紀の川市として一元化に向けた取り組みの問題点と解決について、未だに一本化されていない文化祭の今後の方針を問う。

各町の図書館をいづれか一つ、中央図書館として集中させ、各支所の図書館を窓口業務にして休館日をなくすなど、人員削減と市民サービスに供することを考えては。

本庁舎建設を概成事実としてすすめるのか、支所を二分局化して段階的にすすめるのか、いづれにする当初目標の職員数500人規模の定数を一日も早く実現してスリム化を計る方策を考えてはどうか。

職員数に
関しては当初の目標、47%補充を



桃山図書館



岡田 勉 議員

問 学校規模が小さく、財政効率が悪くても教育を受ける権利を保障し、必要な経費を出して教育条件を整備しその学校の良さを最大限いかすために施策を講じるのが国や自治体の役割だと考えるがどうか。

答 教育長
直接指導するには、無理がある。

学校栄養士の役割分担は

問 学校給食において栄養士は献立を作成すると同時に、自ら調理現場に出て調理員にも指示を出しながら連携して作業を行なうことになっているが、民間委託になれば調理員に指示を出すことができるのか。

市道は一番身近な道路

問 市道を新設する時、市当局が重要視することは。

答 建設部長
生活の利便性、地域経済の活性化などを検討しながら進める。



粉河給食センター



吉田 隆三郎 議員

間伐材活用の研究を

問 地球温暖化対策を推進するため、今年5月に「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」が公布・施行されている。市は、間伐促進の計画を作成しているのか。

答 農林商工部長
紀の国森づくり基金も活用し、ガイドレー



間伐材の活用例

問 農林所有者の「措置

答 農林商工部長
「緑の雇用」事業等を通じ、担い手育成を進めている。組合で12人の作業員が働いており、市は社会保険料を補填している。

問 那賀広域森林組合では、低賃金でも頑張っている。担い手の育成や、作業システムの改善は。

答 農林商工部長
組合では、作業機材の購入も検討しているが、市も連携して作業システムの改善を進めて行く。

問 間伐材の利用促進や森林保護には、組合と相談しながら、総合的に検討していきたい。



大森 道夫 議員

耕作放棄地の現状は

問 農水省は、今後五年間で耕作放棄地解消のため新農政二〇〇八を決定。農業的利用のできる土地、できない土地に振り分け市町村における耕作放棄地解消計画の策定を実施しており、紀の川市としての一筆ごとの耕作放棄地の詳細な現況把握はどうなっているのか。

農業は就職先

問 農業委員会は、法的なこともあるが農地の農作業の受託や借入れなど集積する農業生産法人等に参画できないものか。景気の低迷による失業者の増加もあり将来展望に立つて雇用創出と担い手の育成を目指してはどうか。農業法人は、就農者にとって重要な就職先となっている。ほ場整備事業は、5ha以上と大規模で従事者の高齢化と経済的負担が重く、狭小で不整形な土地

答 農林商工部長
農業委員会は、法人参画は困難であるが法人立ち上げ新規就農に協力していきたい。ほ場整備は、耕作放棄地の現状を踏まえ今後は、解消率など面積だけに着目しない小区画の支援策等に有利な補助制度を模索してモデル的な農地の整備を検討していきたい。



遊休農地



亀岡 雅文 議員

建設中、完成後に環境の変化により、台風や局地的な大雨など地域や河川におよぼす影響は大きい。川の水は万全か。市民

問

京奈和東道路の進捗状況は、用地買収率が96%で平成20年度から工事に着手しており毎年同じくらいの予算が付けば5年間で完成をめざす。

治水は万全か

市内における京奈和自動車道建設の進捗状況及び完成時期は。

答 建設部長

また、完成後の排水は、平成19年度より用地買収に着手し買収率は70%で予算が付けば着手後5年間で完成したい。

また、各駅に乗り捨て出来るレンタサイクルを推進するサイクリングクラブの声があるがどうか。

問

商店街やボランティアの皆さんがJR粉河駅の一部を整備活用し駅舎を拠点に観光や商業の活性化を目指している。

建設中の濁水は、必要な所に沈砂池を設け濁水を沈殿させた後排水する。

現在国土交通省と県が下流域の安全を第一に協議しながら詳細設計を進めている事を確認している。



建設中の京奈和自動車道

また、各駅に乗り捨て出来るレンタサイクルを推進するサイクリングクラブの声があるがどうか。

また、各駅に乗り捨て出来るレンタサイクルを推進するサイクリングクラブの声があるがどうか。

問

また、各駅に乗り捨て出来るレンタサイクルを推進するサイクリングクラブの声があるがどうか。

また、各駅に乗り捨て出来るレンタサイクルを推進するサイクリングクラブの声があるがどうか。

虚礼廃止にご理解・ご協力を！
市議会では、公職選挙法等に基づき、虚礼を廃止した議員活動を行っています。
具体的には、次のような項目です。市民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。
◆冠婚葬祭、慶事、見舞いおよび各種行事等における寄付行為の禁止
◆あいさつ状の禁止
◆議員名、議員団名および会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
◆中元や歳暮の贈答はしない
◆お祝い・おくやみ電報等は出さない（親戚・友人は除く）



石井 仁 議員

子どもに保険証を

資格証明書が交付されると、患者は医療機関の窓口でいったん治療費の全額を負担しなければならず、そのため治療を受けることをためらう受診抑制や治療の中断が深刻となっている。

問

厚労省の全国調査によれば、中学生以下の無保険の子どもの全国で3万2千903人にのぼり、和歌山県で47人、紀の川市でも4人の子どもの無保険状態となっているとのことである。

少なくとも子どもや障害のある方、高齢者に対する資格証明書の発行をしないで、保険証を発行すべきと考えるが、市の見解はどうか。

答 市民部長

世帯主の納付状態と子どもが等しく必要な医療を受けられることは別の問題であり、18歳未満の子どもには資格証明書の交付を行わない方針である。



臨時職員の待遇改善を

問

この間の職員採用状況、配置を見る限り、福祉関係の部門に職員削減が集中していることは明らかだ。この傾向が続くなら、将来にわたって、特に福祉部門での市民サービス確保することができると、疑問を持つものである。

特に、地方公務員法で「一時的、臨時的、補助的業務」について任用することと規定されている臨時職員は、例えば保育所の分野では、全職員の

答 総務部長

実質的に正規職員の代替え、長期雇用となり一部の保育現場において、臨時雇用の職員に限りなく正規職員に近い勤務形態をお願いしていることは、重要な課題と認識している。

もっと観光PRを

問

紀の川市には、私達の先人が築いた多くの貴重な文化財があり、豊かな自然のもと、サイクリング、ウォーキングなど人気のあるハイキングコース、そして果物や野菜など豊富な産物がある。これら紀の川市の良いところを活用して、観光面・食と健康志向など観光をアピールし、多くの人々が来ていただけるような取り組みにより、活性化対策をしていく必要があると考えるが、行政の対応は。



上野 健 議員

紀の川市には、二つの国宝など貴重な文化財や豊かな自然、豊富な農作物があり、めっけもん広場にもたくさんの人々が訪れている。また、たま駅長のいる貴志駅にも他府県より多くの方が、観光に来ていただいている。紀の川市観光協会においても、観光マップの作成、フルーツキャラクターとして、紀の川プルプル娘のグッズの販売を行っている。

今後、和歌山大学観光学部とも何らかのタイアップをしていければと検討をしている。また、市長のトップセールスにより、農業振興と共に観光についても合わせてPRしていきたいと考えている。

答 市長

住みたい、行ってみたい紀の川市にしていきたい。青洲の里、粉河寺などは、歴史ある紀の川市をPRしていかなければならないと思っている。そして一人でも多くの方々に紀の川市にお越しただけのようにしていく事が、これからの大きな課題ではないかと考えている。



スーパー駅長 たま

環境対策委員会研修報告

環境対策調査特別委員会は、11月13・14日の両日、兵庫県川西市と滋賀県近江八幡市において視察研修を行いました。

初日は、兵庫県の川西市と猪名川町、大阪府の豊野町と能勢町の1市3町で構成された「猪名川上流広域ごみ処理施設組合 国崎クリーンセンター」にて研修を行いました。

平成9年頃にはダイオキシン問題で全国的に取り上げられた地域であり、府県をまたぐ広域でのごみ処理ということで、どのように地域住民の理解を得て、ごみ処理問題解決に向けて取り組んでいったのか説明を受けました。

説明では、住民が「近くにあつてもかまわない」と思える施設の建設に向け、大学教授などの学識経験者、地域の代表はもとより、次の世代を担う大学生や高校



国崎クリーンセンター視察

生の意見を取り入れながら何度も検討委員会を開いたそうです。

ごみ処理場建設までに要した時間を質問したところ、「国崎クリーンセンター」は、平成10年9月に広域のごみ処理を合意してから約10年かかった。」とのことでした。

見学させていただいた施設は、最新鋭の設備でありながらも、周辺の豊かな自然環境との調和がはかられ、体験型学習施設や芝生の多目的広場が併設されるなど、住民の「近くにあつてもかまわない」という意見が取り入れられた見事な施設でありました。

二日目は、滋賀県近江八幡市の火葬場「さざなみ浄苑」にて研修を行いました。

近江八幡市は人口約6万9千人で、近江商人発祥の地として歴史のある街ですが、火葬場も平成17年7月に「さざなみ浄苑」



さざなみ浄苑視察

ができるまでは、明治時代につくられた火葬場を使用していたそうです。

さざなみ浄苑は、「単に火葬を行う施設ではなく、人生最後の儀式的場所、母なる琵琶湖に近江の人々の魂が還っていく場所」という視点で建設され、設計にあたっては、見積もり競争入札ではなく、地元自治区代表や文化協会役員などで構成された設計技術提案選定委員会が、各設計業者からの提案を採点し、業者を選定する「プロポーザル方式」を取り入れていました。

採用された提案は、ワークショップを取り入れ、住民に理解される「開かれた火葬場」を地域とともに作るという点が評価されたそうです。

今回視察した両施設とも住民の参画、意見を聞きながら、周辺の環境と調和し、少しでも住民に愛される施設を目指していました。

紀の川市としても住民の理解を得て、地域と共存共栄できる施設を建設することが大切だと感じました。

山東省濱州市(友好都市)へ公式訪問



小学校視察

10月22日から24日の3日間、中国山東省濱州市から招聘され、議員訪問団として視察と交流を行いました。

濱州市は紀の川市を07年10月に友好都市関係を締結した。黄河の流れる人口370万人、面積は和歌山県の約2倍の市です。

まず、感想を一言で言えば「広い」という一言に尽きます。

道路、学校、工場、農業用地すべてが我が国では想像できない広さです。例えば、農業では高速道路沿いに約100kmにわたり延々と施設園芸が行われています。

あまり近代的な施設と

は言えませんが、日本と同じような野菜が栽培されています。

そのような条件を生かした「市づくり」に関しては全体計画のなかで各プランの実現のため全力を尽くしその発展のスピードには驚かされるものがあります。しかし、まだ市民の生活は日本と比較して、豊とは言えないと思います。その市民の低賃金が、今の中国の経済を支えているのは否定できないとしても、道路や公園、学校や営住宅等の計画的なインフラ整備が、たとえ政治の体制がどのように変化

するにしても、今後の中国の発展に非常に有利になるのではないかと感じました。

また、「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」(孫子の兵法)で

有名な孫武の出身地でもあります。

私達は中国の一都市の現状と発展を知ることによって、自分たちの市のおかれている状況をより深く認識することができました。政治体制の違いもあり、かえって多くのことを学ぶことができた訪問でした。

わずか3日間の滞在でしたが、熱烈歓迎を受け友好の絆をより一層強くすることができたと確信しています。



農林業施設視察

議員定数等調査特別委員会

議員定数等調査特別委員会は、平成20年第1回定例会で設置され、自治連絡協議会、行財政改革推進委員会の委員から参考意見を聞くなど延べ9回委員会を開催し、昨年12月に調査研究を終了しました。

最終的に委員会としての意見を一つに集約することができなかつたため、以下の主な意見を述べ調査結果の報告といたしました。

委員の多数の意見としては、「行政に対する議会の最大の任務であるチェック機能が果たせなくなる」等として、合併協議会で定めた26人よりとするものでした。少数意見としては、「財政を立て直すため、行財政改革を推進するのが目的で議員自ら姿勢を示さなくてはならない」等で、議員定数を削減しなくてはならないというものでした。

つがる・尾道の両市議会が 当市を視察



尾道市議会の研修風景

11月5日に青森県つがる市議会の建設常任委員会委員の方々が、本市に合併後の下水道事業について視察に来られました。

まず、紀の川市役所本庁舎において、市の下水道課から、紀の川の公道、下水道は、和歌山県と旧那賀郡6町が一体となつて紀の川中流域下水道(那賀処理区)事業として取り組んでいる概要と進捗状況について説明を行ったあと、活発な意見交換を行いました。

その後、那賀浄化センターの施設見学を行いました。



つがる市議会の研修風景

11月12日に広島県尾道市議会の文教経済委員会委員の方々が、本市の食育推進計画、主要農産物のブランド化、有害鳥獣対策について視察に来られました。

まず、青洲の里において、地産池消で取り組んでいる健康バイキングで食事をとられた後、紀の川市食育推進計画を策定するにあたり、食育アンケート調査を実施し、コンサルに委託せずに職員で作成した経緯や内容等の説明を行ったあと、活発な意見交換を行いました。

意見書

国民健康保険に対する国庫負担割合の引き上げを求める意見書

国民健康保険は、国民皆保険体制の基盤をなす制度であり、被用者保険に加入していない全ての人を対象とする医療保険制度であるため、高齢者や低所得者の占める割合が高く、他の医療保険に比べ財政的に基盤が脆弱であるという構造上の問題を抱えている。

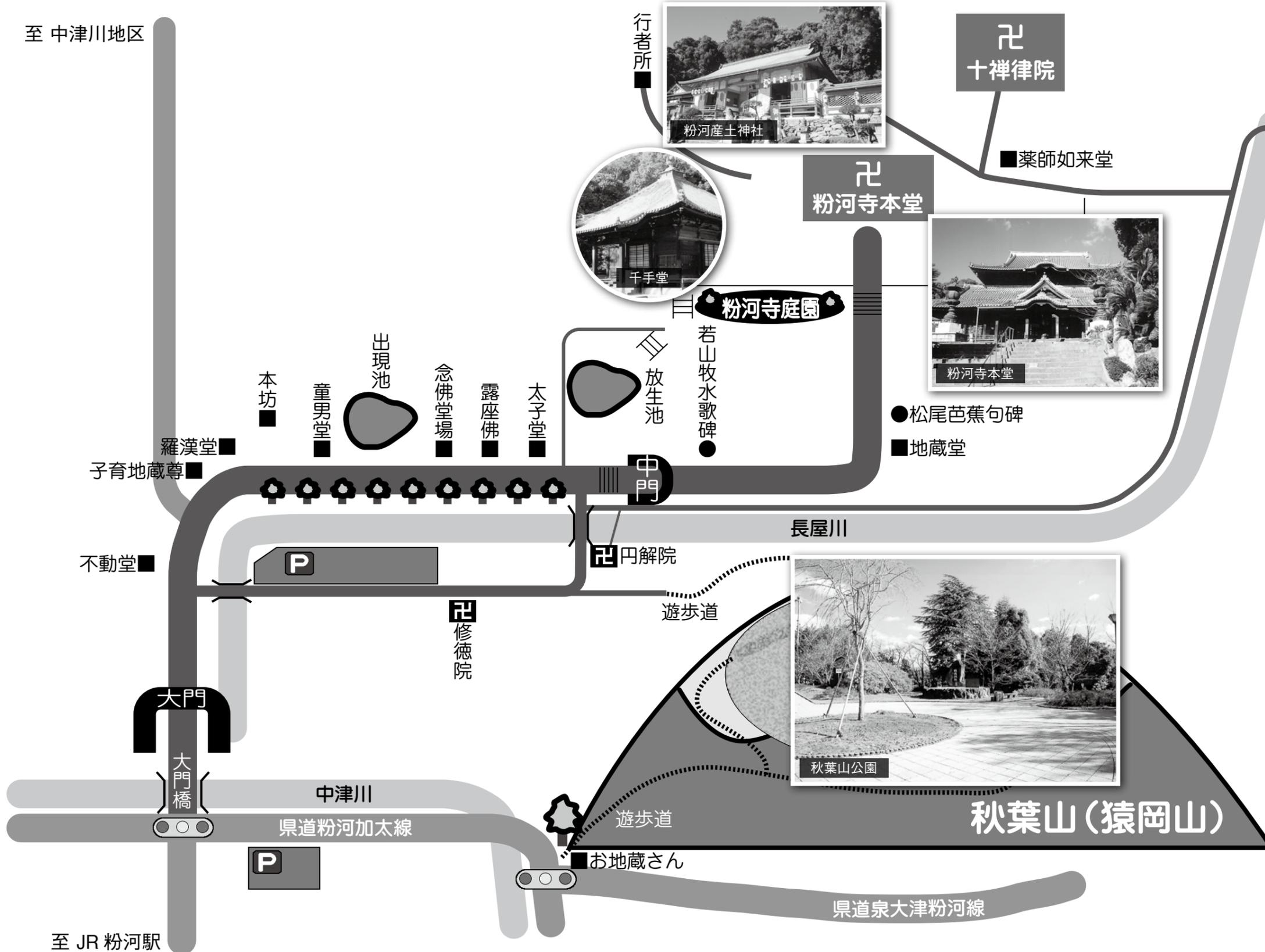
また、近年の急激な高齢化や社会経済情勢の低迷長期化により、低所得者世帯は年々増加の傾向にある。

よって、国民健康保険法第1条に定める目的である「社会保障及び国民保健の向上に寄与する」ため、国の責任において国民健康保険加入者及び保険者の負担増をまねくことなく、安定した国民健康保険制度の運営が可能となるよう国庫負担割合の引き上げを強く要望するものである。

〔提出先〕 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

〔可決(全員賛成)〕

特集 紀の川市の 歴史を散歩 Part2



粉河地区では、なんといっても、宝亀元年(770年)、大伴孔子古によって創建された粉河寺が有名だ。しかし、寺の隣の秋葉山頂に、戦国から徳川期にかけての著名な武将がつくった城の記念碑があるのをご存知だろうか。

その武将の名は、藤堂高虎。滋賀県甲良町の土豪の家に生まれ、7人も主君を代えるなど戦国の世を渡り歩き、粉河には、天正13年(1585年)、豊臣秀吉の弟、秀長の紀州入りとあわせて1万石の領地を得て、「猿岡城」を築いた。7年に及ぶ治世の間、粉河まつりの再興にも尽力したとされている。後に伊賀・伊勢32万石の大名となった。

猿岡城は記念碑に名を残すのみだが、現在、津市、今治市など高虎ゆかりの地と連携して、藤堂高虎を主役としたNHK大河ドラマの誘致活動が行われている。紀の川市がNHKドラマの舞台になる日も近いかも？

▼粉河寺での琴始



▶青洲の里での七草粥



▲育児サロン



◀車楽ラブのみなさん

▼60のつどい協力員



▶出初式



優良賞受賞

第21回近畿市町村広報紙コンクール(毎日新聞社・毎日文化センター主催)で、紀の川市議会だよりが初応募で優良賞を受賞いたしました。

紀の川市議会だよりは、「議員自らの手でわかりやすい紙面」をモットーに写真や図表を多用して議会の活動を伝えるよう今後もがんばります。

表彰式は、平成20年12月24日に毎日インテシオ(大阪市北区梅田)において開催され、毎日文化センター代表取締役社長から表彰状・盾・副賞が授与されました。



編集後記

皆様には、心新たな良いお年を迎えられたこととお慶び申し上げます。アメリカ発の金融不安が世界中に広がり、激動のうちに平成21年が明けました。

今年も去年に続いて、不況の年、大変な年になりそうですが個々に気持ちを暗くもつことよりも健康に十分心がけ元気な日々を過ごせるようにしたいものです。皆様により親しみやすい、議会だよりを作り、さらに最優秀賞を目指し頑張りたいと思います。

(Y・S)

- 議会広報編集委員会
 委員長 遠藤 守
 副委員長 今西敏文
 委員 上野 健
 前田正昭
 坂本康隆
 森田幾久
 竹村広明
 西川泰弘